

ミキハウスカップ東京2017が東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所で開催

2017年9月10日(日)、厳しい暑さが峠を越えたとはいえまだ夏の日差しが肌をさす東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所に於いて、JJYUと東京都ヨット連盟の共同主催による第27回ジュニアヨット国際親善東京レガッタ(ミキハウスカップ東京2017)が開催されました。佐藤精知夫レガッタ副会長が開会式の挨拶で「年々参加者が増えており、今年は約80名のエントリーがあった」と述べられた通り、北は茨城県セーリング連盟ジュニアヨットクラブ、そして南は静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアヨットクラブから、多くのジュニアセーラーが顔をそろえました。

開会式では特別協賛の株式会社ミキハウスに所属する川田貴章選手(ナクラ17級)から「自分も20年前はこの大会に参加し全く走れなかったけど、今はオリンピックを目指しています」と激励の言葉を頂きました。ミキハウス様からは執行役員社長室長の光川彰夫様、そして須長由季選手(ウインドサーフィン級)も応援に駆けつけてくださいました。

今年は天候と安定した南からの風に恵まれて、OP級上級者とレーザ4.7はそれぞれ3レース、OP級初級者は予選3レース決勝4レースを実施し、無事に終了することができました。

また国際親善のレガッタですが外国人選手の参加がないので、都内インターナショナルスクールの子供たちと保護者にヨットのセーリング体験とレガッタの観戦をしてもらおうという趣旨で、「ヨット体験試乗会」が併せて開催されました。この経験をとおして、参加者のなかから新しいジュニアセーラーが生まれてくれたら、とても素晴らしいことだと思います。



東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所



佐藤精知夫レガッタ副会長の開会式挨拶



特別協賛の株式会社ミキハウス・川田貴章選手からの激励の言葉



ヨット体験試乗会を楽しむ参加者のみなさん

レース終了後は、ホストクラブである江東区立小中学校セーリング部の保護者の皆様が心をこめて作ってくださった手料理を楽しみながら、親善交流パーティーでしばし歓談。

その後、安井清陸上運営本部長の挨拶で閉会式が、引き続き高橋祐司レース委員長から成績が発表されました。OP級上級者の優勝者に贈られるミキハウスブレザーは、池田 海人君(江の島ヨットクラブジュニア)が獲得しました。

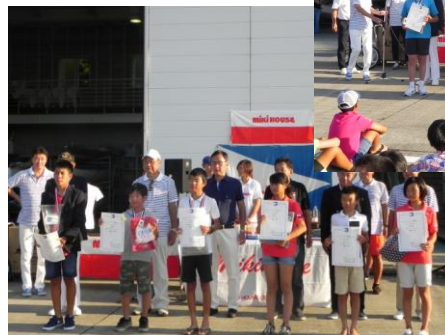
また、ミキハウス様提供の景品をかけた恒例のジャンケン大会では、賞品がもらえなかった参加者達がお目当ての景品を目指して熱い戦いを繰り広げていました。



安井清陸上運営本部長の挨拶



OP級初級者の上位入賞者



OP級上級者の上位入賞者



レーザ4.7の上位入賞者



クラブ対抗チームレース優勝の江東区立小中学校セーリング部



ウインドサーフィン級のミキハウス・須長由季選手からは「リオには出場できなかったけど、2020年の東京オリンピックを目指します！」と力強い挨拶を頂きました。



ミキハウスのブレザーがとても似合ってます！OP級上初級者優勝の池田 海人君(江の島ヨットクラブジュニア)



お目当てのミキハウスグッズ獲得を目指して、真剣な表情でジャンケンを繰り広げる参加者達。



大会協賛のスターモア化粧品株式会社・林幹雄社長から特別賞の自転車を贈られ、大喜びの山口 悠吏君(夢の島ヨットクラブ)